

防衛省・防衛装備庁における障害者の活躍推進のための取組

- 防衛省及び防衛装備庁における「障害者活躍推進計画」(※1)を策定。 ※1 令和2年4月から5年計画
 → 計画に基づき、障害のある職員が意欲と能力を十分発揮し活躍できるよう、各種取組を推進。

【主な取組】

- ・ 社会福祉士及び精神保健福祉士の国家資格を有する専門職員を大臣官房秘書課及び防衛装備庁人事官付に配置。
 → 障害のある職員との個別面談や巡回による各基地等の人事担当者へのアドバイスなど、職場定着支援のサポートを実施。
- ・ 各職員がその能力を十分発揮できるよう、障害特性を踏まえた各課への配置に加え、市ヶ谷地区においては、内局及び防衛装備庁の合同の執務室においても各種業務を実施。
- ・ 障害者が活躍しやすい職場づくりのための環境整備の一層の推進

【参考1】 障害者の任免状況 (令和3年6月1日現在、国の機関の法定雇用率2.6%)

→ 実雇用率 防衛本省：2.69% (実数：508人) 防衛装備庁：2.94% (実数：39人)

【参考2】 障害者が活躍しやすい職場づくりのための環境整備 (一例)

【バリアフリー執務室】



【車椅子での動線の確保】



【面談室】



【休憩室】



【点字ブロック】



【エレベーター改修】



※ 車椅子利用者及び視覚障害者用として、「手すり」「押釦」「点字銘板」等を設置

【多目的トイレ】



(上図) 多機能トイレ
(下図) オストメイト対応

【その他の整備】

(就労支援機器)

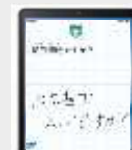


スロープが整備されていない基地等において車いす使用者が採用された場合に使用



補聴援助システム

会話を無線で補聴器につなぐシステム



コミュニケーション支援アプリ



筆談支援器



音声読上げソフト



画面拡大表示ソフト



上下昇降デスク

車椅子の高さに合わせて天板を上下に動かせる



点字プリンター



点字ラベラー